



No.1 Noodle Restaurant Company

証券コード:9900

味
の
民
会
り
ん

第48期 報告書 | 2017年4月1日~2018年3月31日





株主の皆様へ



2018年6月

代表取締役社長兼最高執行責任者 (COO) **伊藤 修二**

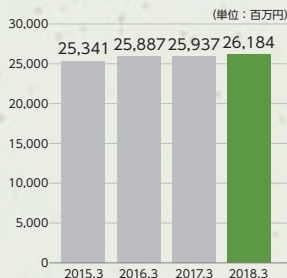
平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。第48期のご報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

わが国経済は、拡大する世界経済の恩恵が広がるとともに、継続的な政府の経済政策や日銀の金融緩和策の効果によって、雇用情勢の改善を中心に景気回復基調で推移いたしました。外食産業におきましては、業界全体としては2018年4月までの月間売上が20ヵ月連続で前年を上回るなど好調に推移しておりますが、依然として消費者の低価格志向には根強いものがあります。さらに人手不足による人件費や物流費の上昇などに加え、業種・業態の垣根を越えた顧客獲得競争も激化しており、厳しい経営環境が続いております。

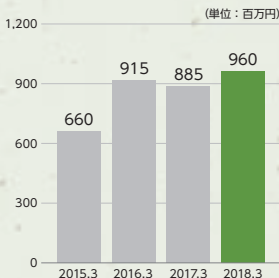
このような環境下ではありましたが、当社グループではお客様起点の視座をグループ全社で堅持しながら店舗の改革を進めるとともに、グループビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」を共有し、「事業基盤の強化」「収益性の向上」「成長戦略の推進」を柱に取り組んだ結果、計画を上回る成果を上げることができました。

本紙面は、その間の取組内容をご紹介しますので、ご覧いただければ幸いです。

✓ 連結売上高



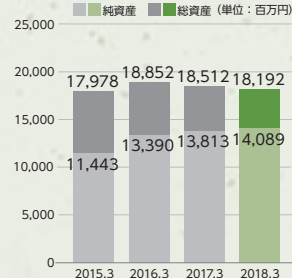
✓ 連結経常利益



✓ 親会社株主に帰属する当期純利益



✓ 連結純資産・連結総資産



機動的且つ柔軟な事業経営の実現

業績と取り組み

【Q1】 当期の業績についてお聞かせください。

当社グループの2018年3月期の連結業績は、売上高26,184百万円、営業利益883百万円、経常利益960百万円、親会社株主に帰属する当期純利益597百万円と、計画値（売上高26,000百万円、営業利益880百万円、経常利益920百万円、親会社株主に帰属する当期純利益590百万円）を、全ての項目で上回ることができ、中でも親会社株主に帰属する当期純利益においては今世紀に入って最高の結果となりました。

主力業態である「和食麺処サガミ」、「味の民芸」におきましては、期間限定の季節メニューなど、メニュー政策が奏功したことに加え、原材料調達先の拡大によるコスト削減への取り組みが寄与し、良好な結果となりました。

昨年度の店舗展開におきましては、主力業態である「和食麺処サガミ 関マーゴ店」を昨年10月に岐阜県関市の商業施設マーゴ・ウエスト内に新店を出店いたしました。これは、「和食麺処サガミ」の新規出店としては9年ぶりとなり、新規オープン以降、地域のお客様からも大変ご好評をいただいております。その他にも、昨年12月に岐阜県岐阜市に「岐阜北一色店」、3月には、愛知県豊川市に「豊川牛久保店」の合計3店舗の出店を行いました。また、昨年9月には、東京都八王子市のJR八王子駅ビル、セレオ八王子内に「備中



手延べうどん びんむぎ セレオ八王子店」を出店いたしました。「びんむぎ」は、軽井沢店に次ぐ2店舗目の出店となり、軽井沢店の人気商品である「黒浅間」に加え、八王子店オリジナルのメニューを取り揃えており、今後も立地や周辺環境に合わせた柔軟な店舗展開を実施してまいります。

その他の取り組みにおきましては、「和食麺処サガミ」で導入している減塩メニューの累計販売数が、健康志向の高まりを受け2016年の販売開始以降20万食を突破するとともに、ポリフェノールの一種である「ルチン」が普通そばの約100倍含まれている韃靼そばにおいても、10万食を突破いたしました。また、低糖質麺の試験販売も開始しており、引き続き健康価値に優れたメニューの開発・販売に取り組んでまいります。



販売促進におきましては、SNSを活用したサガミのフォトコンの実施、産学連携の取り組みとして、名古屋文理大学の学生と共同開発したメニューの販売、地域連動企画として、三重県と協力し「みえ食旅パスポート」を実施いたしました。昨年12月には、名古屋を地盤として活動しているアイドルグループSKE48とのタイアップキャンペーンとして「手羽先対決」を実施することで、新たな顧客層の開拓に繋がる成果を得ることができました。今年度は当社が創業48周年となることから、既存の顧客への訴求も同時に行える内容に刷新し、SKE48とのタイアップ企画を継続実施いたします。

原材料調達先の拡大におきましては、昨年10月にアメリカの大手食肉加工会社と契約し、豚肉の直輸入を開始いたしました。生産者から原材料を直接仕入れることにより、コスト面でのメリットだけでなく、より安全で、より品質の高い商品提供への取り組みを拡大してまいります。

経営の改善・改革

【Q2】中期経営計画の進捗はいかがですか。

当社グループでは、時代や経済環境の変化に柔軟に対応するため、中期経営計画を1年ごとに見直すローリングプランとしております。今年度策定したローリングプラン2020では、「事業基盤の強化」「収益力の向上」「成長戦略の推進」を3つの柱として掲げ、「No.1 Noodle Restaurant Company」の実現に向け、取り組みを進めてまいります。

「事業基盤の強化」については、今年10月に持株



会社へ移行することで、経営戦略機能と業務執行機能を分離し、意思決定の迅速化を図るとともに、次世代の経営人材の育成を強化いたします。さらに、企業と社会、そして顧客の「CSV（共創価値）」の向上にむけESG（環境・社会・企業統治）への取り組みを強化いたします。三方よしの経営を実現させることで、将来にむけた事業基盤の強化を目指してまいります。

「収益力の向上」については、CRM（顧客関連性マネジメント）推進の一環としてオリジナルアプリのAI機能を駆使し、顧客志向分析の精度を高め、価値あるメニュー政策や販売促進企画を実施することで、よりお客様にとっての価値を向上させるべく取り組みを進めてまいります。

また、一部食材価格の高騰が懸念されるなか世界各国からの直接仕入れの仕組み構築にむけた取り組みを進めております。当社グループのメイン商材である玄蕎麦や鶏肉、豚肉の直接仕入れだけでなく、今後、天ぷら用海老など水産品、農産品についても情報収集を行い、国内のみならず、世界各国からの

仕入れを検討し、商品の品質や付加価値の向上、コスト削減に繋げ、SCM(サプライチェーンマネジメント)の再構築を実施してまいります。

「成長戦略の推進」について、今年度の国内店舗展開においては、主力業態の出店加速をテーマとして掲げており「和食麵処サガミ」3店舗、「味の民芸」2店舗、その他小型業態においても数店舗の出店が決定しております。今後も、お客様にとって、より身近で、よりご利用いただきやすいよう店舗網を拡大してまいります。

海外店舗展開においては、ミラノ万博後の1年間に亘るテストマーケティングが昨年12月をもって終了いたしました。期待を上回る成果を挙げたため、現在、イタリアの現地パートナーとの合併会社設立に向け取り組みを進めております。当社は、ASEANを海外における重点出店地域と位置付け取り組んでまいりましたが、今後は、ASEANに加え、欧州での店舗展開も進めてまいります。

また、フランチャイズ事業もスピードを上げて展開してまいります。今年1月には、手延べうどん「水山」、とんかつ専門店「かつたに」にて、フランチャイズショーに出展を行っており、フランチャイズパートナーの募集を精力的に実施しております。

ブランド価値

[Q3] サガミグループのブランド化への取り組みについてお聞かせください。

ブランド価値向上への主要な取り組みの一つとして、認知度の向上活動があります。当社グループで

は、株主様や投資家の皆様から直接ご意見をいただける場として、IR活動にも力を入れており、昨年7月に開催された名証IRエキスポにおきましては、多数の株主様や投資家の皆様から直接ご意見をいただくことができました。一方で、関東圏においての知名度は、依然として強化が必要と認識しており、認知度向上のため、今年度も、名証IRエキスポへ参加するほか、関東圏を中心とした個人投資家説明会を随時実施してまいります。

株主の皆様へ

[Q4] 改めて株主の皆様メッセージをお願いします。

昨年度は、当社グループにおいて東京証券取引所、名古屋証券取引所第一部上場20周年を迎えた節目の年でもありました。日頃の株主の皆様のご愛顧に感謝申し上げます。

2020年の創業50周年、さらにもっと先の未来への再成長に向けて、当社グループは、人口減少や高齢化、異業種との競争など、厳しい環境が続くなかでも勝ち残っていくために、お客様起点の視座を堅持しながら、ローリングプラン2020に取り組み、グループビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」の実現を目指し、経営地盤の強化に尽力いたします。

株主の皆様におかれましては今後ともご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

1

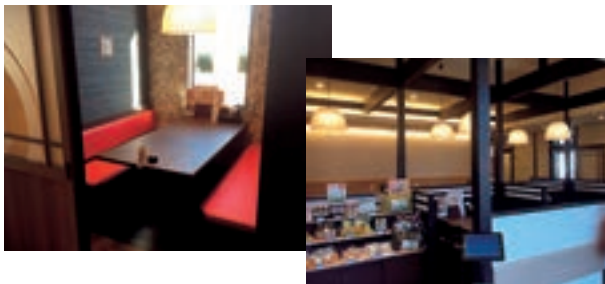
和食麵処サガミの新規出店

2017年12月14日、岐阜県岐阜市北一色に「和食麵処サガミ 岐阜北一色店」をオープンいたしました。岐阜北一色店は、ロードサイド型のサガミとして昨年10月に2008年以降9年ぶりに開店をした「和食麵処サガミ 関マーゴ店」に続き、岐阜県内では21店舗目の出店となりました。

2018年に入り、3月に愛知県豊川市に「和食麵処サガミ 豊川牛久保店」、4月に埼玉県越谷市に「和食麵処サガミ 越谷南店」と開店を重ね、「和食麵処サガミ」は全国で134店舗となりました。オープンの際には地域の皆様に多くの支持を受け、順調な船出となりました。また、6月に「和食麵処サガミ 東海店」、7月に「和食麵処サガミ 豊橋柱店」の開店を予定しており、今後も東海地方および関東地方を重点出店地域として「和食麵処サガミ」以外の業態を含め出店を続けてまいります。



和食麵処サガミ 岐阜北一色店



TOPICS

2

『サガミ48th×SKE48 10th』タイアップキャンペーン開催中



「和食麵処サガミ」では、誕生10周年を迎える名古屋・栄を拠点に全国で活躍するアイドルグループ「SKE48」とのタイアップキャンペーンを昨年に引き続き本年4月より開催しております。

昨年12月に開催いたしましたSKE48とのタイアップキャンペーン第1弾『サガミ手羽先対決!! あなたは塩派orタレ派』では多くのお客様に当社手羽先のおいしさをお伝えする事ができ、同グループ内「サガミチェーン選抜」による楽曲、『夜明けのコヨーテ』もCD販売され、ご好評のうちに終了いたしました。

本年度のキャンペーンは、スタンプカードとサガミアプリが連動したキャンペーンとなっております。

また7月上旬からは、スタンプの数に応じてすてきな賞品が当たるプレゼントキャンペーン第1弾も開催いたします。

キャンペーンの詳細内容は『サガミ48th×SKE48 10th』キャンペーンサイトをご参照ください。

TOPICS

3

サガミグループ持株会社体制への移行

当社は、2018年5月11日開催の取締役会において、2018年10月1日を目途に会社分割（簡易分割）の方式により持株会社体制へ移行するための検討を開始することを決議いたしました。

2018年6月4日には当社が営む飲食事業等を当社の子会社（株式会社ディー・ディー・エー）に簡易吸収分割により承継する吸収分割契約を締結いたしました。

（注）本吸収分割は、分割会社である当社において会社法第784条第2項に規定する簡易吸収分割に該当するため、当社の株主総会による吸収分割契約の承認を得ずに行う予定です。

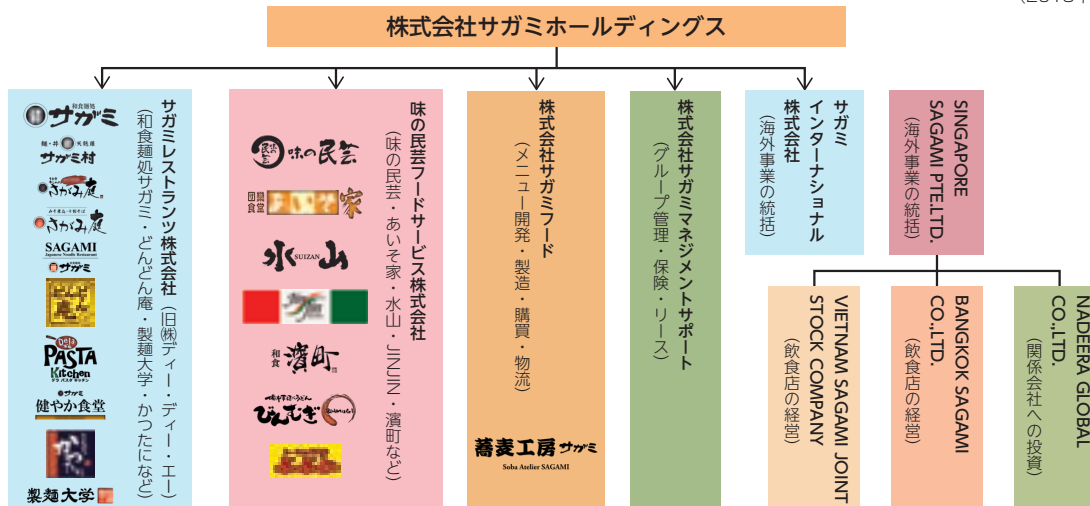
持株会社体制への移行の背景と目的

当社はグループビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」の実現に向けて、地域に必要なとされる企業を目指す「食文化を通じて地域社会に奉仕すること」、安全安心・健康を届け食生活向上に寄与する「企業を通じてお客様に奉仕すること」、および、より良きサガミを次世代に継承する「食」と「職」の楽しさを創造する企業」の経営理念を推進して成長を続けてまいります。

そのためには、経営の効率化を図り、市場環境の変化に柔軟に対応できる体制づくりが必要と考え、経営戦略機能と事業執行機能を分離することで意思決定の迅速化を図り、経営人材の育成と機動的で且つ柔軟な事業運営実現の観点から、会社分割による持株会社体制へ移行することを決定いたしました。

持株会社体制移行後のイメージ

（2018年6月4日現在）



株主様の疑問 Q&A

- Q** 持株会社体制への移行にともない、株主にはどのような影響がありますか？
- A** 現在の株式会社サガミチェーンの株主の皆さまは、持株会社体制への移行後は引き続き上場を維持する株式会社サガミホールディングスの株主となり、株主の皆さまがお手続きをさせていただくことは何もありません。
- Q** 10月1日以降も株主優待は使用できますか？
- A** 持株会社体制移行後もサガミグループ全店でご利用いただけます。



部門別外食事業の状況

和食麺類部門

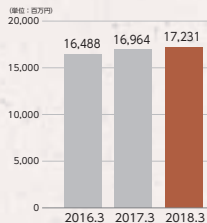
17,231 百万円 **65.8%**

当社主力業態である「和食麺処サガミ」において、全店販売促進企画として「お客様大感謝祭」を3回実施し、「料理フェア」を8回実施したほか、「クーポン券配布企画」を3回実施いたしました。また「こだわりテレビCM」を愛知県・三重県・岐阜県・富山県・滋賀県・静岡県で6回、奈良県・神奈川県で1回放映いたしました。これにより既存店売上高は前年同一期間に対して1.7%増となり、客単価が前年同一期間に対して2.1%増、既存店客数は前年同一期間に対して0.4%減となりました。

店舗関係では、「和食麺処サガミ 関マゴ店」(10月)を岐阜県関市の商業施設マゴ・ウエストに出店し、「和食麺処サガミ 岐阜北一色店」(12月)を岐阜県岐阜市に出店、「和食麺処サガミ 豊川牛久保店」(3月)を愛知県豊川市に出店いたしました。

■対象店舗

サガミ



133 店舗 (FC含む)

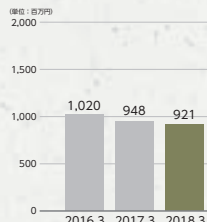
どんどん庵部門

921 百万円 **3.5%**

セルフサービス方式の「どんどん庵」においては、全店販売促進企画として「料理フェア」を7回実施したほか、「どんどん祭」を3回実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 砂田橋店」(1月)を閉鎖いたしました。

■対象店舗



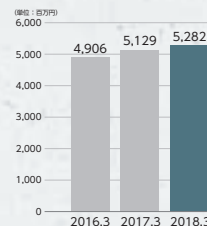
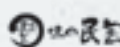
34 店舗 (FC含む)

味の民芸部門

5,282 百万円 **20.2%**

手延べうどん「味の民芸」においては、全店販売促進企画として「お客様大感謝祭」を2回実施し、「料理フェア」を10回実施したほか、「クーポン券配布企画」を9回実施いたしました。

■対象店舗



55 店舗 (FC含む)

その他の部門

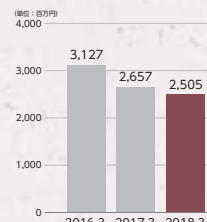
2,505 百万円 **9.6%**

団樂食堂「あいそ家」において、「料理フェア」を10回、「クーポン券配布企画」を3回実施したほか、大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「お客様大感謝祭」を1回、「料理フェア」を8回実施いたしました。

国内店舗関係では、「びんむぎ セレオ八王子店」(9月)を出店、「和食麺処サガミ 座間店」を「濱町 座間店」(2月)に業態転換いたしました。一方で、「さがみ庭御器所店」(5月)、「さがみ 青山店」(11月)、「陣屋サガミ」(1月)を閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、「SAGAMI Silom Complex店」(9月)、イタリアに長期実験店舗として出店していた「SAGAMI ミラノ店」(12月)、「盛賀美 中山公園店」(2月)を閉鎖いたしました。

■対象店舗



38 店舗 (FC含む)

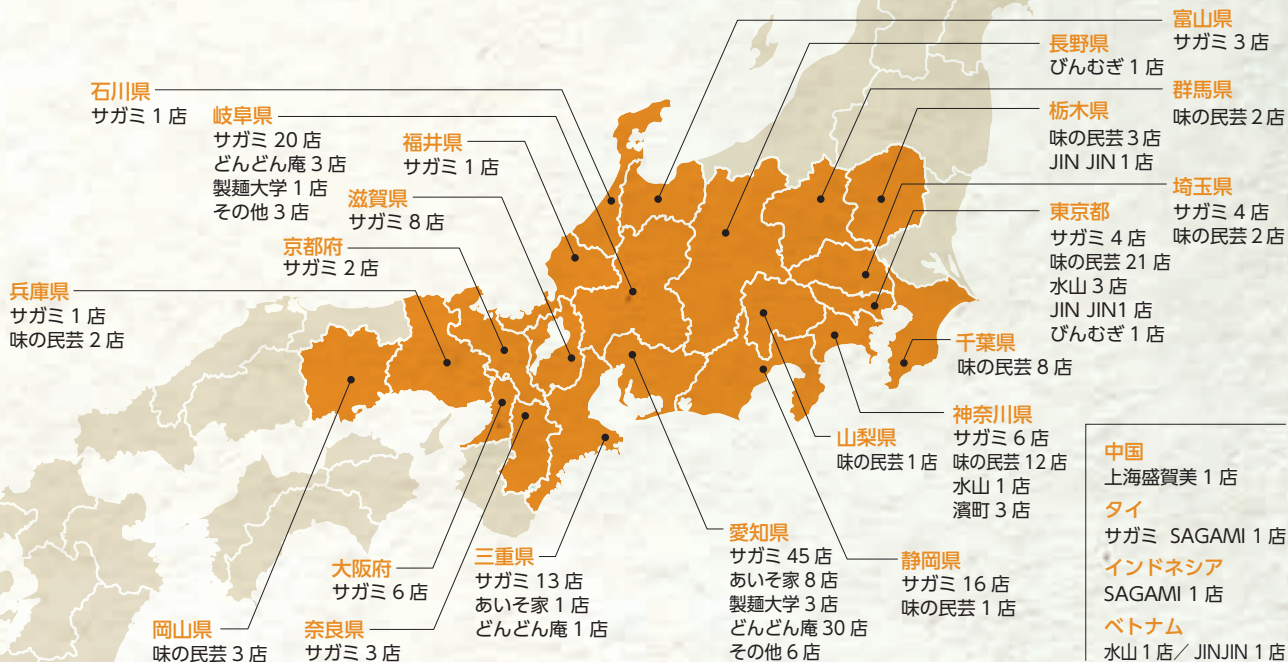
店舗ネットワーク

(2018年3月31日現在)

当社グループは、「和食麺処 サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「サガミ村」「さがみ庭」「びんむぎ」「JINJIN」「濱町」「健やか食堂」「DelaPASTA Kitchen」「かつたに」「SAGAMI」を展開しております。また海外はタイ王国のバンコク、インドネシアのジャカルタ、ベトナムのホーチミンに展開しております。



合計
260
店舗



新店舗情報

「かつたに アピタ四日市店」



2018年5月26日(土)に「かつたに」アピタ四日市店を、LaLasquare (ララスクエア) 内のアピタ1Fにオープンいたしました。店内にて、ひとつ一つ丁寧にパン粉付けしたとんかつをお値打価格で提供いたします。



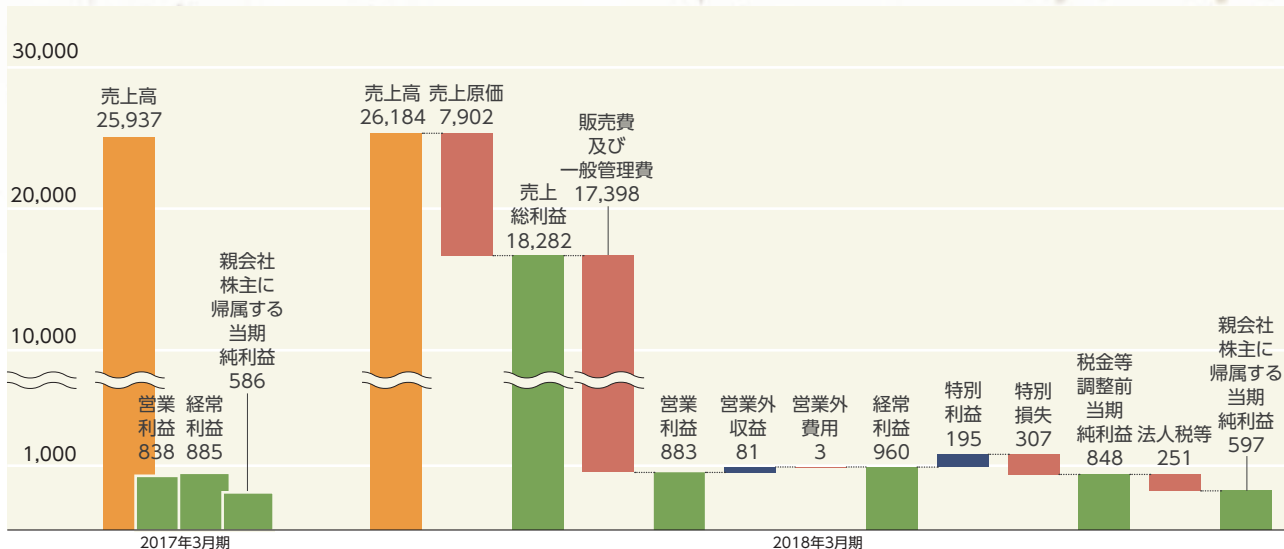
鉄板味噌コース定食



連結財務諸表 (要約)

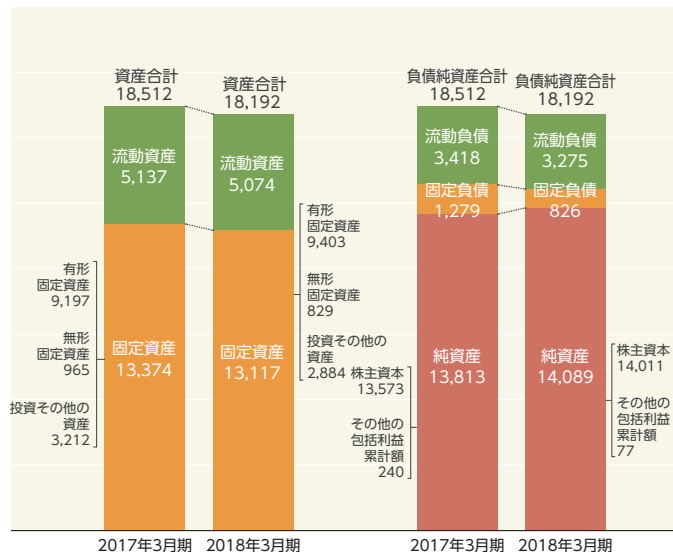
連結損益計算書

(単位：百万円)



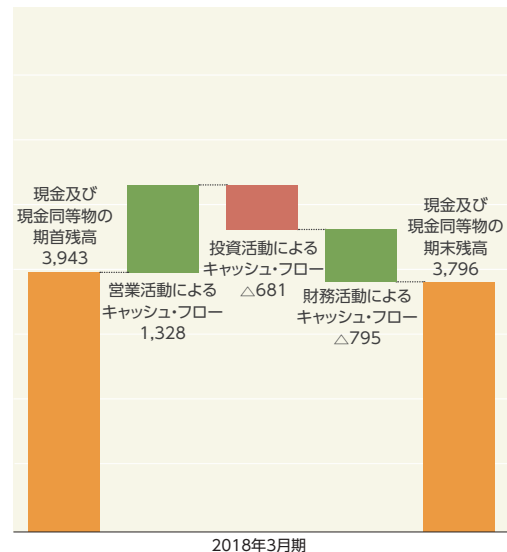
連結貸借対照表

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)





■会社概要

商号	株式会社サガミチェーン
設立年月日	1970年(昭和45年)3月4日
資本金	7,178,109,149円
従業員数	578名
本社	名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
店舗数	260店舗
グループ企業	味の民芸フードサービス株式会社 株式会社ディー・ディー・エー 株式会社サガミフード 株式会社サガミマネジメントサポート サガミインターナショナル株式会社 SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD. BANGKOK SAGAMI CO.,LTD. NADEERA GLOBAL CO.,LTD. VIETNAM SAGAMI JOINT STOCK COMPANY

■役員 (2018年6月28日現在)

代表取締役会長 兼最高経営責任者 (CEO)	鎌田 敏行
代表取締役社長 兼最高執行責任者 (COO)	伊藤 修二
取締役専務執行役員	伊垣 政利
取締役常務執行役員	大西 尚真
取締役執行役員	長谷川 喜昭
取締役執行役員	鷲津 年春
取締役	千住 憲夫 (社外)
取締役	遠藤 良治 (社外)
取締役	川瀬 千賀子 (社外)
常勤監査役	長屋 昇
監査役	神谷 俊一 (社外)
監査役	福井 秀剛 (社外)
監査役	村上 貴子 (社外)

(注) 1. 取締役 千住憲夫、遠藤良治および川瀬千賀子の各氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 神谷俊一、福井秀剛および村上貴子の各氏は、「会社法」第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

■株式情報

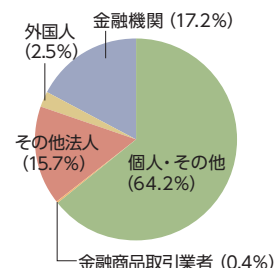
1 発行可能株式総数	74,630,000株
2 発行済株式総数	26,501,784株
3 株主数	15,935名
4 大株主	

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
昭和産業株式会社	11,940	4.50
アサヒビール株式会社	10,320	3.89
株式会社愛知銀行	9,239	3.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	5,037	1.90
岩月 康之	4,500	1.69
株式会社昭和	4,339	1.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,303	1.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,280	1.61
サガミ共栄会	4,180	1.57
第一生命保険株式会社	3,990	1.50
合計	62,129	23.45

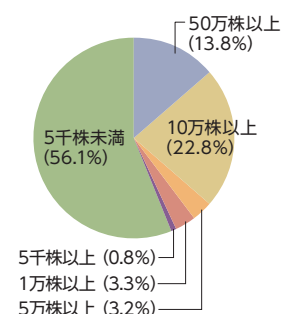
(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
2. 当社は、自己株式として15,868株を所有しております。
3. 株式給付信託(BBT)導入のため設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式133,600株は上記自己株式に含まれておりません。

5 株式分布状況

①所有者別分布



②所有株式数別分布



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
定時株主総会	毎年6月下旬	インターネットホームページ	https://www.sagami.co.jp/
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日	株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会関係 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。	同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	郵便物送付先 及び電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)

株主優待のご案内

- ・1,000株以上保有の株主様※1
年間3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券
(1万5千円を年2回)を贈呈
- ・500株以上1,000株未満保有の株主様※2
20%割引券を年間10枚(5枚を年2回)贈呈
- ・100株以上500株未満保有の株主様※2
20%割引券を年間4枚(2枚を年2回)贈呈



【権利確定日】毎年3月31日、9月30日
【発送予定】毎年6月下旬、12月中旬



左記QRコードより
ご利用店舗をご確認
いただけます。

※1.1回の利用額に制限がなく、日本国内の「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「サガミ村」「SAGAMI」「さがみ庭」「ごちたく」「びんむぎ」「JINJIN」「Dela PASTA Kitchen」「濱町」「健やか食堂」「かつたに」「蕎麦工房 サガミ」「ぶぶか」全店でご利用いただけます。

※2.1枚につき、割引上限金額は3,000円(税込)となります。株主優待券を含む他の券との併用はできません。
日本国内のサガミグループ全店にてご飲食代金にのみご利用いただけます。
「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「JINJIN」「サガミ村」「Dela PASTA Kitchen」「びんむぎ」「健やか食堂」「かつたに」「ぶぶか」においては、20%割引ではなく、お一人100円(税込)割引とさせていただきます、1枚で4名様までご利用いただけます。

株式会社サガミチェーン

〒463-8535 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
電話 (052) 771-2126

